

## めいがか

令和7年1月31日  
文京区立明化幼稚園

## 集団の中で育まれる豊かな経験

副園長 山下 美幸

年明けから、冬らしい寒さの日が続いていますが、園内では子どもたちの元気な声が響いています。1月から通用門が変更となり、保護者の皆様や地域の皆様には、ご理解、ご協力をいただいております。1年間は、このような状況が続きますが、どうぞよろしくお願いいたします。

1月中旬の観劇会では、全園児と保護者の方、めいかランド（地域の未就園児親子）も参加して、みんなで楽しい人形劇を見る機会がありました。人形劇の面白さに子どもたちは心を動かされ、笑い声や歓声が上がっていました。在園児の歓声を耳にした小さな子たちが、お家の方の膝の上で、手をたたいたり、笑ったりする姿が見られ、楽しさが人から人へ伝わっていく様子が見られました。

面白いと感じたことは、子どもたちの「やってみたい」という気持ちにも変化していきます。早速、年中組では、人形劇をまねて再現遊びが始まりました。登場していたヒヨコやアオムシの絵を描き、ペープサートを作り終わると、「ひよこのサーカスが始まります」と人形劇ごっこを始めました。年少組が客になって見ていると、賑わっている様子に刺激を受けた他の年中組の子が「こちらでは踊りのショーをします」と言い、人形劇を見ていた年少組をショーごっこに誘っていました。自分で作った物や考えたことを、見ってもらうことで嬉しさを感じたり、「すごいね!」と言われることで、意欲につながったりしていきます。このような年中組の姿は、これまで年長組に水族館ごっこや遊園地ごっこを始めとした遊びの中で、見たり遊んだりした経験によるものであり、遊びが楽しくなる方法も遊びを通して学んでいるのだと感じます。

2月始めに行われる年中組と年長組の発表会は、2月中旬に発表会を行う年少組のきっかけとなります。このように、子ども同士が刺激し合い、面白さや楽しさが次々と伝播していくというのは、幼稚園という集団生活だからこそ経験できることです。2月は、各学年の締めくくりに向かう時期となります。遊びや生活の中で、これまでの様々な経験が意欲的な姿の中に見られることでしょうか。行事や日々の生活の姿から、保護者の皆様や地域の皆様に、子どもたちの成長とともに、集団の中で育まれた豊かな経験を感じていただくと幸いです。



←左写真「ひよこのサーカス始まります!」年中組の人形劇ごっこに年少組が見に行った時の様子です。

→右写真 先日の明化小学校の展覧会に明化幼稚園の子どもたちの作品も展示されました。幼稚園の子どもたちも見学に行きました。

